

令和3年度第1回（第232回）仙台市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時 令和3年7月28日(水) 13:30～14:25

場 所 仙台市役所本庁舎 第2委員会室

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 協議事項

- ① 令和2年度仙台市国民健康保険事業特別会計決算（案）について

【資料1-1～3】

(2) 報告事項

- ① 令和2年度国民健康保険料収納対策の総括について

【資料2】

- ② 新型コロナウイルス感染症対応状況（国民健康保険関係）について

【資料3】

3 出席者

出席委員（19人）

- 鹿野委員、佐藤（昭）委員、遠藤（良）委員、遠藤（和）委員、高橋（裕）委員、
佐藤（太）委員、江刺委員
- 小針委員、小菅委員、柴崎委員、北村委員、高橋（將）委員
- 橋本委員、跡部委員、庄司（俊）委員、ひぐち委員、村上委員
- 佐藤（昌）委員、庄司（秀）委員

欠席議員（4人）

- 安藤委員、清水委員
- 鎌田委員、渡辺委員

事務局

健康福祉局長、健康福祉局次長、保険高齢部長、収納対策室長、同室収納企画係長、同室徴収対策係長、保険年金課管理係長、同課保健事業担当係長、同課保険係長、同課給付適正化担当係長

青葉区保険年金課長、宮城総合支所保険年金課長、宮城野区保険年金課長、若林区保険年金課長、太白区保険年金課長、秋保総合支所保健福祉課長

4 会議経過

- 開会
- 欠席者報告
- 橋本副会長により議事進行
- 署名委員の指名
佐藤（太）委員、小針委員
- （1）協議事項

【橋本副会長】

それでは、協議事項の①「令和2年度仙台市国民健康保険事業特別会計決算（案）について」、事務局から説明をお願いします。

【保険高齢部長】

（資料1に基づき説明）

【橋本副会長】

はい、ありがとうございました。ただいま説明がありました件について、委員からご意見・ご質問がございましたら承りたいと思います。

いかがでしょうか。

【高橋（將）委員】

新型コロナウイルスの影響で受診件数が減ったということは、本当に必要な医療には行っていると思うが、そうではない、行かなくてもいいような受診が減ったのか、それとも新型コロナウイルスのための色々な予防行為、マスクをすとか手洗いすとかで、風邪やインフルエンザが減ったためなのか。そういうことはわかりますか。

【保険高齢部長】

この間の受診件数の推移や医療費の状況を見ますと、いわゆる高額療養費、医療費の高いものについてはさほど減少傾向は見られていないようですので、緊急性が高いものや高度医療を要するものについて影響はあまり見られていないようでございます。

予防にかかる対策の徹底によって、インフルエンザ等の罹患が減ったということも背景としてはあろうかと存じます。

【高橋（將）委員】

その割合はわかりませんか。例えば予防効果のお陰で3%減ったとか、あるいは半分の1.5%位はこういう予防のための行為に効果があったとすれば、これから毎年毎年手洗いやマスクをすることを市民の皆さんに呼び掛けていけば、今後も同様に減るのではと考えたものですからこういう質問をさせていただきました。

【保険高齢部長】

マスク等の予防対策によってどれくらい受診件数の減の影響があったかのような割合や統計的なデータについては、残念ながら取れていないところでございますが、感染対策のために日常から、一人ひとりができることを呼び掛けていくことは大切になってくると存じます。

【橋本副会長】

他によろしいでしょうか。はい、佐藤委員どうぞ。

【佐藤（昌）委員】

関連した話ですが、資料の1-2の3ページが歳出の詳細版のようでして、保健事業費予算も執行されない部分が多かったように見えています。特定健診なのでしょうが、昨年のコロナ禍の中で健診を受けられない方が多くなったのかなと想像するのですが、受診されなかった方の人数なり受診率の減少なりの情報は確認されていますでしょうか。

【保険高齢部長】

実績のデータを今精査中で、正確な比較にはまだならないかも知れませんが、特定健診の受診率を令和元年度と令和2年度で比較しますと、令和元年度の特定健診の受診率が約49%、それに対しまして令和2年度が約43%~44%ぐらいということですので、特定健診の受診率としては減少傾向が見られているところでございます。

【橋本副会長】

佐藤委員よろしいでしょうか。

【佐藤（昌）委員】

その後の皆さんの利用状況などは、戻ってこられているのか、それともそのまま終わってしまったのか、これから調べることは可能ですか。

【保険高齢部長】

特定健診はこれから本格的に実施していくことになるので、まだ昨年度に比べての回復傾向がどれくらいあるとかというデータのなとこで詳しくお示しできる状況にはございませんが、私共といたしましても、健診の受診率であるとか人数であるとか、今後の受診の実績については逐次取らせていただいて、そのあたりの影響がどのようにあるのか、あるいは更なる受診勧奨といったことで健診の受診を促していく取り組みについても引き続き行っていく必要があると考えてございますので、今後の状況も見極めながら取り組みを進めていきたいと考えております。

【佐藤（昌）委員】

病気の予防とか早め早めの発見という点でも、一人でも多くの方が健診を受けられるようにするのは良いことと思いますので、そちらにも力をいれていただきたいと思います。以上です。

【橋本副会長】

他にございますでしょうか。私のほうからひとつ。今ほど、受診件数の減少に関する質疑がございましたが、現場の患者さんの状況であるとか、見えてきた課題であるとか、医師会の小針委員並びに歯科医師会の小菅委員、柴崎委員から、もしございましたらお聞かせいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

【小針委員】

具体的な数字は捉えておりませんが、診療しておりますと、やはり一般の疾患に対する診療の患者さんの数は減っていると思っております。

【橋本副会長】

はい、ありがとうございます。では、小菅委員お願いします。

【小菅委員】

昨年の緊急事態宣言の直後あたりですと、やはり受診控えという傾向が歯科医院でも見られました。コロナが心配なので、定期健診は少し先延ばしにしたい、という相談を受けたこともありました。

その時は半分まではいきませんが3分の1 くらいの患者数の減少という感じでしょうか。ところが、お口の中のコンディションを整えていくというのは定期的なメンテナンスが必要ですので、それを先延ばししたところで決してよくはならない。問題がどんどん山積してくるということで、やはり調子が悪くなって戻ってくる。現状としては、コロナ前の受診者数にほぼ戻っているのではないかと手応えを得ております。

【橋本副会長】

はい、ありがとうございました。それではその他、皆様のほうからご意見、ご質問いかがでしょうか。ないようでしたら、「令和2年度国民健康保険事業特別会計決算原案」については、原

案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

【橋本副会長】

よろしいとのことですので、原案のとおり承認いたしたいと存じます。

○ (2) 報告事項

続きまして、報告事項①「令和2年度国民健康保険料収納対策の総括について」、事務局から説明願います。

【収納対策室長】

(資料2に基づき説明)

【橋本副会長】

はい、只今説明がありました件について、皆様からご意見、ご質問ありましたら挙手にてお願いいたします。

よろしいでしょうか。ご意見、ご質問がなければ、報告事項①「令和2年度国民健康保険料収納対策の総括について」は以上といたしたいと思います。

続きまして、報告事項②「新型コロナウイルス感染症対応状況(国民健康保険関係)について」、事務局から説明願います。

【保険高齢部長】

(資料3に基づき説明)

【橋本副会長】

只今説明がありました件について、皆様よりご意見、ご質問ございましたらご発言願います。
はい。小針委員。

【小針委員】

国民健康保険傷病手当金の支給について、実績支給件数が41件ということですが、本来予想される件数と比べて妥当なのか、それとも少ないのかというのはいかがでしょうか。この制度を十分に理解して市民の方が利用できているのかどうかをお聞きしたい。

【保険高齢部長】

こちらにつきましては、制度開始当初はなかなか周知がうまく進んでいないということもあり、

申請件数が伸び悩んでいたところでございますが、その後様々チャンネルを通じた周知を図ってくる中で、支給件数については見込みよりも伸びてきたところでございますので、手当の支給を必要としている方々には一定程度対応できている状況ではないかと認識しております。

【小針委員】

ありがとうございます。

【橋本副会長】

他にございませんか。はい。庄司俊充委員どうぞ。

【庄司（俊）委員】

只今の件、なかなか件数が少ないと思ったのですが、傷病で大黒柱が大変なことになったとか、あるいは保険料が払えなくなったという部分を国で負担していただくということですので、市の広報は当然ですが、医師会などの協力もいただきながらもっと積極的な広報をやるべきと感じましたけれども、そのへんどのように捉えているのかお伺いさせていただきます。

【保険高齢部長】

傷病手当金はそもそも国保には傷病手当の制度がないところで、コロナウイルス感染症の影響で特例的に設けられたというところもありまして、なかなか一般の社保ほど周知が進んでいない中での制度の運用というところがあるかと存じます。先程、ある程度必要な方への支給はできているのではないかと申し上げましたけれども、見方によってはまだまだ周知が足りなくて、本来であれば休んでこの手当を貰えるという方も中にはおられるだろうというところはございますので、減免の周知と併せまして、こういったコロナ対応にかかる制度の周知につきましても、情報が行きわたるように様々な手段を用いまして、丁寧かつ積極的に行っていきたいと考えてございます。

【橋本副会長】

はい。佐藤昌司委員。

【佐藤（昌）委員】

関連しまして、支給条件に合致しないといけないので、その結果が41件だったのでしょうか、加入者のみなさんがこの仕組みを知ってらっしゃるかどうかということのを推し量る数字として、相談件数がどのくらいあったのかも含めて教えていただいたほうが私たちもわかりやすいのかなと思いましたのでとりあえずご意見させていただきます。

【保険高齢部長】

はい、ありがとうございます。私共の窓口などで相談があった件数などを実数として押さえて

いるところではなかったのですが、今そういったことをお示しすることはなかなか難しいところがございますが、被用者の方だけではなく雇用主の方々への情報の周知と申しますか、制度の理解も大切になって来るかと思っておりますので、引き続き窓口等の状況については、我々も状況を把握してまいりたいと思っておりますし、必要な情報の周知につきましては、先程も申し上げましたように丁寧に引き続き行っていきたいと考えてございます。

【橋本副会長】

他に委員の皆様からございますか。

期間が今年9月ということで、あと2ヶ月程度しかないわけですから、本来、支給となる方がしっかり受給していただけるように、先程チャンネルという言い方されていましたが、制度周知の徹底をよろしくお願ひしたいと思ひます。

皆様の質問、ご意見が無いようでしたら、報告事項②「新型コロナウイルス感染症対応状況（国民健康保険関係）について」は以上といたしたいと存じます。

本日の議題は以上となりますが、その他として委員の皆様から何かございますでしょうか。

よろしいですか。（なし）

その他事務局からは何かございますか。

【保険高齢部長】

様々ご意見ありがとうございました。事務局からはこれらの議事のほかに用意しているものはございません。

【橋本副会長】

以上をもちまして本日の運営協議会は閉会といたしたいと存じます。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。お疲れさまでした。